

### **Ⅲ. 西東京市が目指す 望ましい環境都市の姿**



## Ⅲ. 西東京市が目指す望ましい環境都市の姿

---

### 1. 基本となる考え方と将来像

---

基本理念や西東京市の課題を踏まえ、今後環境保全の取り組みを進めていく上で基本となる考え方と、目標とする環境の将来像を示します。

#### ■基本となる考え方

すべての市民が公平に、良好な環境を享受できるよう、われわれ西東京市民は、市の環境をより良好なものにし、持続可能な社会を構築し、良好な地域環境を将来の世代に引き継いでいきます。そのため、以下の4項目を基本的な考え方とします。

- ・ 地域の環境問題の正確な認識と保全に向けた使命感の共有という原則（共有の原則）
- ・ 環境問題の発生を未然に防止するという原則（未然防止の原則）
- ・ 環境は汚染した者の責任により修復するという原則（汚染者責任の原則）
- ・ 環境保全・創出のために、あらゆる主体が貢献し協力するという原則（協力の原則）

「共有の原則」は、環境問題に対する正確な認識を持ち、個人的な価値観や目先の利益を超えて、市民として環境問題に取り組んでいく上での使命感と実際の取り組みを共有することを意味します。

「未然防止の原則」は、環境に対する悪影響を未然に回避するため、事前の調査や対策を十分に行うことを意味します。

「汚染者責任の原則」は、環境汚染に対して、汚染を発生させた者が責任を持って対応していくことを意味します。

「協力の原則」は、地域の環境保全・創出に関する取り組みや役割、負担を、行政や事業者、市民に個別的に押しつけることなく、すべての主体が知恵や労力、資金などを出し合って協力することを意味します。

## ■基本方針と将来像

- ・環境保全に当たっての、西東京市の基本的な方針と将来的に目指す望ましい環境都市の姿（将来像）を示します。

### 基本方針 1

#### 良好な生活環境を確保して、健康で心豊かに過ごす

##### 将来像

- ちょっとそこまで歩きたくなる、心やすらぐ西東京市
- 美しい街並みときれいな空気の、活気あふれる西東京市

市民の移動や貨物輸送など、あらゆる場面で自動車の利用が盛んになりました。その結果、大気汚染や温室効果ガスの排出など、環境への影響が懸念されることから、今後は歩行者や自転車の利用を進めていくための道路環境をつくることが急務となります。西東京市は、自動車優先社会を見直し、市民が歩きたくなる人優先の生活都市を目指します。また、美しい街並みと良好な都市環境は、市民生活にうるおいをもたらすものであることから、良質な生活環境を確保するとともに、市民が活気のある生活をおくることができる都市を目指していきます。

### 基本方針 2

#### 都市のみどりをみんなで支え、自然と共存して生きる

##### 将来像

- 身近で豊かなみどりを、みんなで育む西東京市
- 味わい深い地元のみどりを、みんなで食べて恵みを知る西東京市
- 歴史や文化が育むいのちのみなもと、自然を大切にする西東京市

都市の緑地や水辺といった自然は、憩い・いやしの場、大気の浄化、地下水の涵養、都市気候の緩和、地域生態系の維持など多様な機能を持っています。また、現代に引き継がれた歴史や文化も、豊かな自然に抱かれて形成されたものといえます。こうしたみどりの価値に対して、市民が共通の認識を持ち、農地、屋敷林、公園緑地、街路樹の保全はもちろん、公共施設や住宅に至るまでみどりがあふれ、みどりを維持・保全する努力を、市、事業者、市民が一体となって実行していかなければなりません。西東京市は、東京大学附属農場・演習林が有するみどりを核として、全ての市民が自然の恵みを楽しむ都市を目指します。

### 基本方針 3

## 生活と産業のあり方を見直し、地域に適した循環型社会を実現する

### 将来像

- 排熱と温室効果ガスを減らし、涼しい夏の西東京市
- エネルギーを大切にし、環境にやさしいエネルギーを利用する西東京市
- ごみになるものを買わない、売らない、作らない、使った資源は再利用する西東京市

地球温暖化をはじめとする地球規模での環境問題が顕在化しています。その多くは、市民生活や事業活動による資源・エネルギーの大量消費などにより、環境へ過大な負担をかけた結果といえます。市民生活や事業活動のスタイルを見直し、環境にやさしいエネルギー利用の実践、ごみ減量・リサイクルへの配慮、農産物を通じた地域内での循環の構築といった、省エネルギーやごみ問題などへの対応に関する取り組みを進めることによって、西東京市は、限りある資源を賢明に活用する循環型社会を目指します。

### 基本方針 4

## みんなの知恵と努力と参加によって良好な環境を確保して、これを将来の世代に引き継ぐ

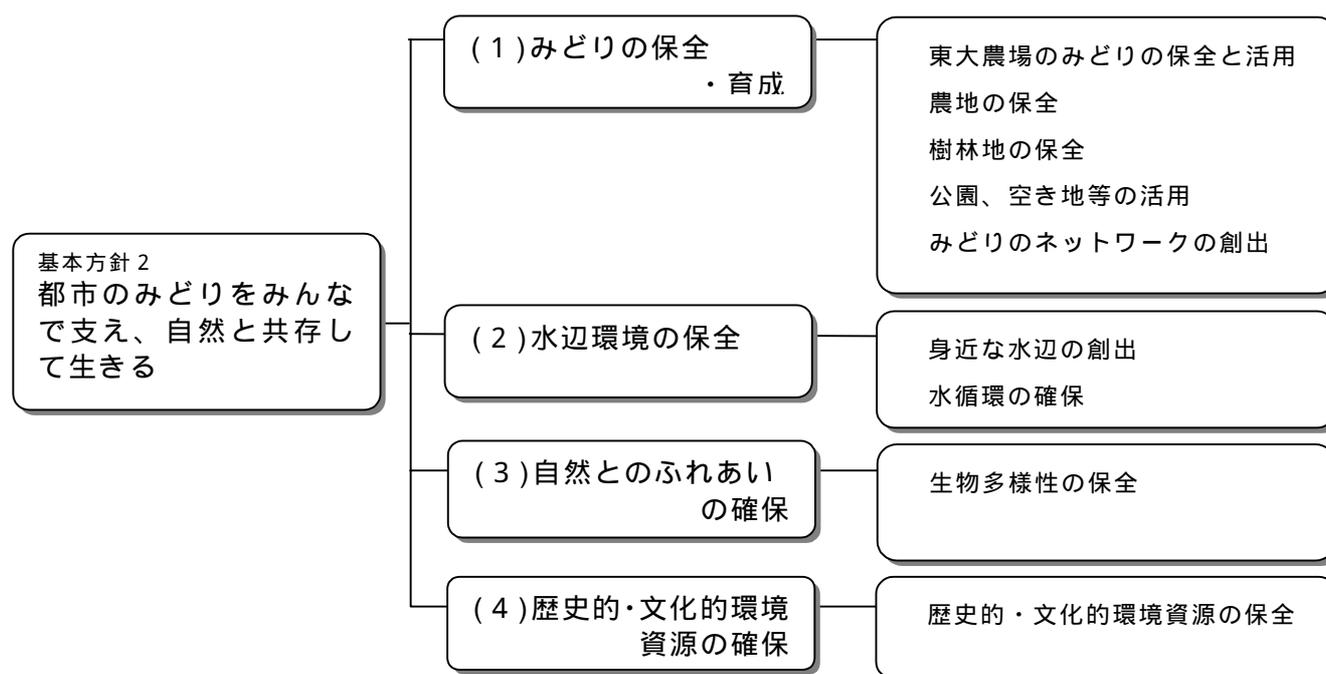
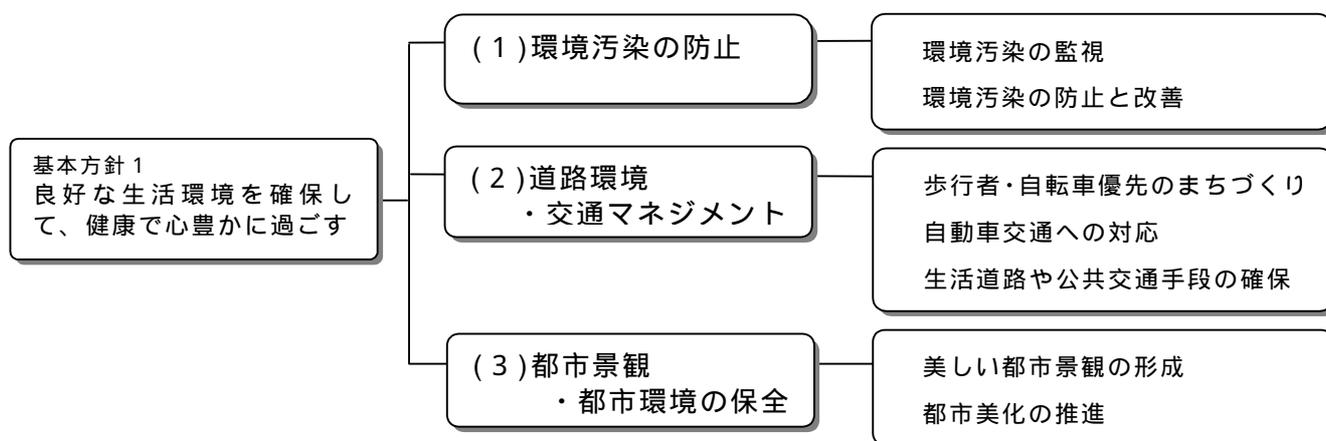
### 将来像

- 環境の大切さを、子どもから大人まで学びあう西東京市
- さまざまな人々が、環境をよくするために活動している西東京市

地域の環境は、そこで暮らす市民や事業者の活動から形成されるものであり、現在の複雑化した環境問題を抱える都市社会では、環境情報の持つ意義が大変大きなものとなります。良好な環境形成を図るためには、充実した情報と環境教育から、市民の環境意識が醸成され、すべての市民が地域の環境に関心を持てるような取り組みを進めていく必要があります。西東京市は、事業者、市民と連携し、みんなが環境情報を共有し、その意識を持って環境学習、環境教育を充実させ、環境保全の取り組みを進めていく都市を目指します。

## 2. 環境施策の大綱（施策の展開）

計画は、基本的な考え方に沿って、将来像の実現を目指すものであり、市、事業者、市民がそれぞれの立場から取り組みを進めていく上で、次のような施策の展開に沿って、環境施策の方向を示すものです。



基本方針 3  
生活と産業のあり方を見直し、地域に適した循環型社会を実現する

(1) 広域的な環境問題への対応

地球温暖化問題への対応  
ヒートアイランド現象への対策  
省エネルギーの推進  
新エネルギーの推進

(2) ごみ減量・リサイクルを中心とした循環型社会へ

ごみの再資源化と再生製品の利用  
ごみの減量化  
環境への負荷の少ないごみ処理システムの構築

(3) 農と消費の一体化

生ごみや剪定枝の堆肥化の推進  
地産地消の推進

基本方針 4  
みんなの知恵と努力と参加によって良好な環境を確保して、これを将来の世代に引き継ぐ

(1) 環境情報の交流

環境情報の共有

(2) 環境学習の推進

環境学習プログラムに基づく環境学習の推進  
環境学習の推進体制の構築  
環境学習の積極的な実施

(3) 環境保全活動への支援

環境保全活動を担う人材等の育成  
環境保全活動の推進

(4) パートナーシップの推進

各主体の連携  
広域的な連携

